



鈴鹿市制 施行80周年記念 みんなで創ろう！レガシー事業

今年「鈴鹿市制 施行 80周年」の年であり、「鈴鹿市が生まれて80年を迎えた」、つまり「鈴鹿市が80歳」になったという年です。そのことを記念して、鈴鹿市の生徒のみなさんに「持続可能な社会の実現や地域の活性化」という「SDGs」の視点で何か特別に学ぶ機会をもってもらいたいという記念事業が企画されました。

本校では11月16日（水）に落語家林家染太師匠をお迎えして、「人権講演」「人権落語」を観覧しました。日本の伝統芸能である落語に触れながら、SDGsの視点で、「すべての人間が生まれながらに与えられている権利」である「人権」について考える機会となりました。

「笑う門には福来る！～いじめられっ子の僕が落語家になったわけ」林家染太

中学時代、壮絶ないじめに遭い、命を絶とうとまで考えたが、周りの人たちの助けを得て、なんとか乗り越えました。この時の辛い経験をもとに、「コミュニケーションが上手くなる方法」、「夢を近づける方法」、「命の大切さ」をテーマにお話いただきました。



マイナスの言葉をプラスに変えていくことは大切なんだと思いました。

「逃」という漢字を「挑」にかえていく等、前向きな考え方がすごいと思いました。

「生きているだけでおもしろいことがある」といった人生のアドバイスをいただいて、自分を振り返ることができました。



職場体験学習(2年生)のご協力ありがとうございました

11月8日(火)、9日(水)、2年生は職場体験学習を実施いたしました。コロナ禍という状況の中、多くの企業や施設の方のご理解とご協力のおかげで、実施することができました。ありがとうございました。生徒たちは、電話での打ち合わせ、事前訪問、2日間の体験学習で、色々と不安に思ったことや、初めてで戸惑うこと、失敗したこともあったと思いますが、事業所の皆様のサポートのおかげで、貴重な体験をすることができました。この体験学習を通して、自分の将来のことを考えるきっかけになればと思います。

体験学習を通して、働くことはとても大変で、簡単ではないということを感じました。

仕事をきちんとこなすには、人の説明をしっかりと聞いて、行動にうつすことが大切だと学びました。

なじみのある店の裏ではたくさんの仕事があって、想像できないものまで知れて、大変良かったです。

白鳥中学校区 人権教育公開授業

白鳥中学校区では幼小中の連携として、白鳥中学校、加佐登小学校、石薬師小学校、井田川小学校、加佐登幼稚園、それぞれが人権教育の公開授業を行い、それぞれの先生が他校の授業の様子を参観に行きました。白鳥中学校では11月10日(木)に1、2年生で公開授業を行いました。懐かしい小学校の先生も参観に来ていたかもしれないですね。

【1年生 人権学習】「ちがいのちがい」

身の回りの「違い」について「あってもよい違い」と「あってはいけない違い」について考えました。

これから色々な人に出会っていくと思うけど、違いを大事にして生きていこうと思いました。

世界には、色々な決まりや考え方、マナーがあるのがわかりました。

【2年生 人権学習】「人の感じ方の違いや気持ちを理解する」

「お悩みカード」を読んで、自分ならどうするか考え、グループで解決方法を話し合いました。

相手に寄り添えることができたから安心できると思いました。

悩みは人によって違うけど、向き合って考えることができて良かった。

留守番電話について

12月1日(木)から、白鳥中学校では留守番電話の運用を開始します。ご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、御理解御協力をお願いいたします。

*留守番電話による応答時間

平日：午後5時30分頃～午前7時30分まで(定時退校日は午後5時から)

授業を行わない日(土曜日、日曜日、祝日、キッズウィーク、閉校日等)：終日

長期休業中(夏季・冬季・学年末)：午後5時～午前8時30分まで